

[PRESS RELEASE]

2017年9月22日

学校法人 埼玉医科大学
イミュニティリサーチ株式会社

免疫チェックポイント阻害剤の効果を投薬前に簡便に判定する方法の開発

～埼玉医科大学発ベンチャーへ独占的通常実施権を許諾～

【概要】

- 埼玉医科大学とイミュニティリサーチ株式会社は、免疫チェックポイント阻害剤の効果を投薬前に判定する方法にかかる特許出願の独占的通常実施権許諾契約を締結しました。
- イミュニティリサーチ株式会社では、本技術に基づく診断薬開発と事業化を目指します。
- これにより免疫チェックポイント阻害剤の効果的投与、また副作用の回避など、がん治療の効率的運用に寄与すると同時に、医療費の削減にも寄与することが期待されます。
- 更には、他のがん治療法開発にも役立つものと期待できます。

本年8月31日、学校法人埼玉医科大学（理事長：丸木清之、学長：別所正美、埼玉県毛呂山町）は、同国際医療センター呼吸器内科教授各務博が発明した免疫チェックポイント阻害剤の効果を事前に血液検査で判定する方法にかかる特許出願の独占的通常実施権許諾契約を、埼玉医科大学発ベンチャー企業であるイミュニティリサーチ株式会社（代表取締役：福澤雅彦、東京都港区）と締結しました。

本研究成果は、本年6月に開催された米国臨床腫瘍学会（ASCO）で発表され、大手製薬会社等から強い関心を寄せられています。

【本技術の概要】

各務教授は、血液中のリンパ球を調べることによって、がん治療薬である免疫チェックポイント阻害剤の効果を、特異性高く、また感度良く判定できる方法を発明しました。

免疫チェックポイント阻害剤は、がん治療に顕著な効果を引き起こすことが知られ、世界中で大きな注目を集めています。しかし現在のところ、この薬剤の効果は一部の患者さんで

しか認められません。

この判定方法に基づいた診断薬を開発することにより、がん組織を取り出すことなく、少量の血液で効果の事前判定が可能となります。この事前判定により、がん治療薬の効果が予測できる患者のみに投与することにより、効果の予測ができない患者さんが、副作用に悩まされることが少なくなる、副次的には医療費削減にもつながるなどの効果が期待できます。

またこの方法は、現在の免疫チェックポイント阻害剤の効果が得られないがんに対する治療法の開発にも役立つことが期待され、この技術によってがん治療を大きく前進させることを目指しています。

【埼玉医科大学】

名称 : 学校法人 埼玉医科大学
英語表記 : Saitama Medical University
開学日 : 1972年4月1日
所在地 : 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 番地
理事長 : 丸木 清之
学長 : 別所 正美

【イミュニティリサーチ株式会社】

名称 : イミュニティリサーチ株式会社
英語表記 : ImmuniT Research Inc.
設立日 : 2017年5月15日
所在地 : 東京都港区北青山 2-7-26 ランドワーク青山 2F
代表取締役 : 福澤 雅彦
サイエンス顧問 : 各務 博 (埼玉医科大学国際医療センター呼吸器内科教授)
事業内容 :

- 免疫チェック阻害剤関連の臨床効果判定に関する研究及びキット等の開発
- 免疫療法に関わる遺伝子解析等
- 新規免疫療法に関わる研究
- その他

本件に関するお問い合わせ先 _____

イミュニティリサーチ株式会社

担当：川田

住所：東京都港区北青山 2-7-26

TEL：03-6890-0963

mail：ykawada@imtr.jp